

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning
and purpose to human life;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;
That government should be of laws
rather than of men;
That earth's great treasure lies in
human personality; and
That service to humanity is the best
work of life.

『 J C 宣言 』

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り拓き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと協和する確かな時代を築くために

率先して行動することを宣言する

糸岡

令頁

われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者 相集い 力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

社団法人 八戸青年会議所 第64回定時総会

日時：平成17年12月11日(日)

場所：八戸プラザホテル

- 13:00～ 第64回定時総会
1. 開会の言葉
 2. ゴング
 3. 国歌斉唱
 4. JCソング斉唱
 5. [JCIクリード唱和](#)
 6. [JC宣言朗読並びに綱領唱和](#)
 7. 理事長挨拶
 8. 2005年度事業中間報告並びに2005年度収支決算中間報告
 9. 褒賞発表・表彰式
- 13:45～ 10. 議 事
- 第1号議案 [2006年度役員、日本JC、地区、ブロック出向者並びに組織案承認の件](#)
 - 第2号議案 [2006年度理事長基本方針並びに事業計画案承認の件](#)
 - 第3号議案 [2006年度収支予算案承認の件](#)
 - 第4号議案 その他
11. 来賓紹介
 12. 来賓祝辞
 13. 閉会の言葉
- 14:30～ 第30回 社団法人八戸青年会議所卒業式
- 17:00～ 2005年度忘年会
- 18:50 閉 会

2006年度 スローガン

八戸青年会議所

「人と人との繋がり」

繋がりが織りなす未来の夢へ^{まち}

青森ブロック協議会

広大な大自然の魂が未来をひらく

童衆の魂のために美しき日本への回帰

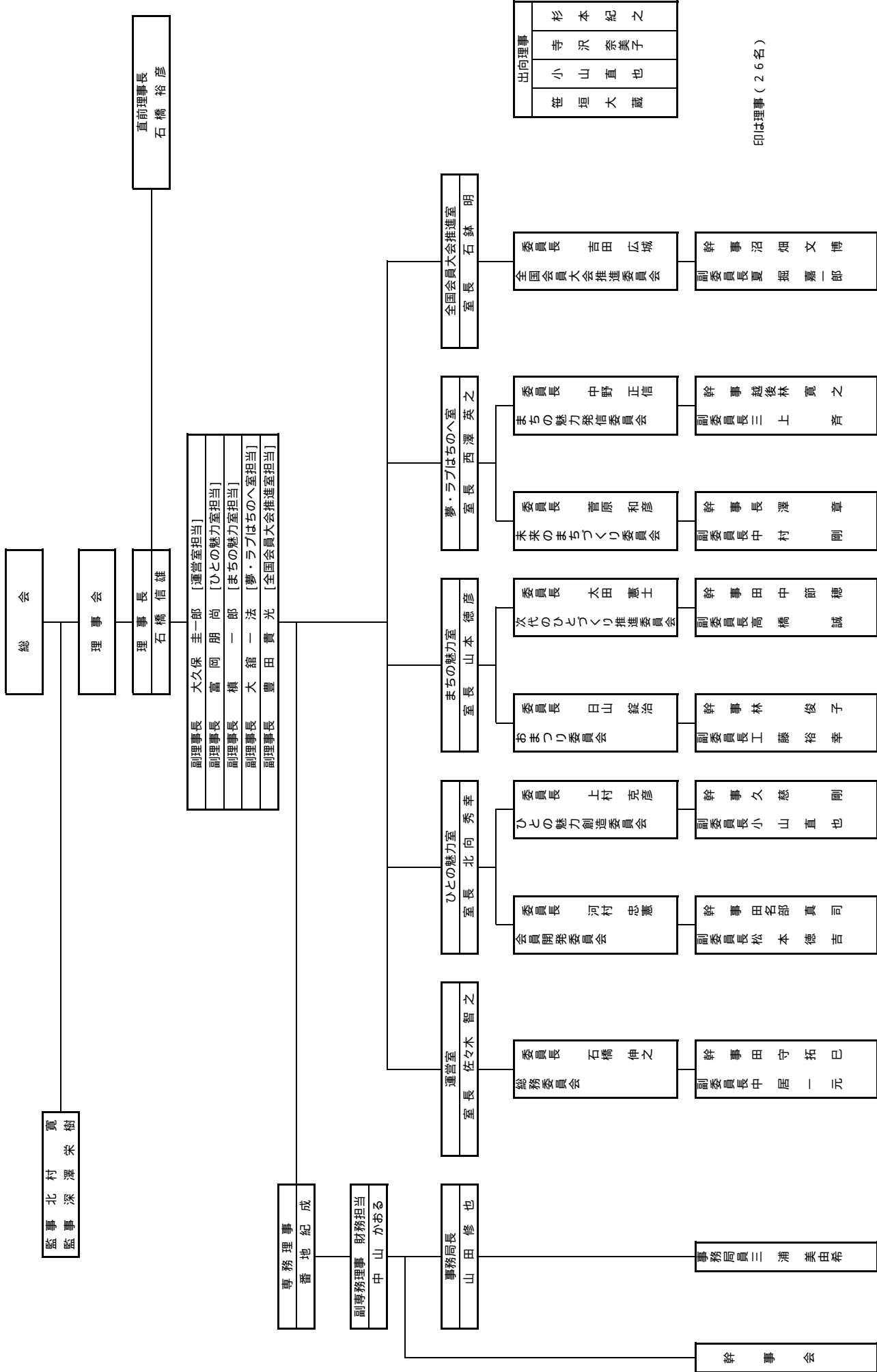
東北地区協議会

立ち上がれ 東北の魂^{こころ}！「美しき日本」の創造に向けて

日本青年会議所

“精神ルネッサンス”

真の自立国家「美しき日本」の創造に向かって!!



印は理事(26名)

2006年度

(社)八戸青年会議所 組織表(案)

常任理事 (14名)	
理事	石橋信雄
副理事	大久保圭一郎
副理事	富岡朋尚
副理事	榎本一朗
副理事	大館貴一
副理事	豊田光成
専務理事	番地紀おる
副専務	中山智之
運営室長	佐々木秀幸
ひとの魅力室長	北山徳彦
まちの魅力室長	山西英之
夢・ラブはちのへ室長	石山修也
全国会員大会推進室長	石橋裕彦

運営室 総務委員会 (13名)	
委員長	石橋伸之
副委員長	中居一
幹事	田守拓
委員	秋田巧
委員	磯田純
委員	上野裕
委員	掛端英
委員	鹿工博
委員	清水真一
委員	清月一
委員	八田睦
委員	古館實子

ひとの魅力室 会員開発委員会 (11名)	
委員長	河村忠憲
副委員長	松本徳吉
幹事	田名部真弘
委員	金入俊幸
委員	河原木藤晴
委員	小工藤純
委員	小泉斎和
委員	大坊直裕
委員	水無道
委員	山道和人

まちの魅力室 おまつり委員会 (14名)	
委員長	日山錠治
副委員長	工藤裕幸
幹事	林俊子
委員	岡一哲
委員	小片吉生
委員	北谷上邦
委員	田村英健
委員	苔米地俊
委員	新沼地健
委員	沼平野晴
委員	宮治隆
委員	横山正
委員	美

夢・ラブはちのへ室 未来のまちづくり委員会 (13名)	
委員長	菅原和彦
副委員長	中村剛
幹事	長澤章
委員	小澤雅一
委員	浄法寺綴幸
委員	清野明
委員	千葉輝
委員	廣原和之
委員	藤安田明
委員	安山勝
委員	山田知
委員	山村和
委員	若山忠
委員	芳義

全国会員大会推進室 全国会員大会推進委員会 (13名)	
委員長	吉田広城
副委員長	夏堀嘉一郎
幹事	沼畑文博
委員	五十嵐昌一
委員	大沼慎
委員	大興寺琢也
委員	笹垣大蔵
委員	佐々木幸
委員	杉本利紀
委員	寺沢奈美子
委員	橋本よし子
委員	長谷川剛

直前理事	石橋裕彦
------	------

出席	大蔵
出席	榎山直也
出席	小寺沢奈美子
出席	杉本紀之

監	北村寛
監	深澤栄樹

ひとの魅力室 ひとの魅力創造委員会 (13名)	
委員長	上村克彦
副委員長	小山直也
幹事	久慈彩
委員	泉菊池
委員	島守雅
委員	清水隆
委員	下沢哲弘
委員	高松宣
委員	菅田稲太
委員	鶴岡圭
委員	山美

まちの魅力室 次代のひとづくり推進委員会 (14名)	
委員長	大田憲士
副委員長	高橋中誠
幹事	田中節和
委員	飯田正宏
委員	一坂清純
委員	獅子内祐司
委員	田口弘惠
委員	中西里愛
委員	西野川毅
委員	野原正
委員	沢利
委員	森川貴
委員	吉野剛
委員	野

夢・ラブはちのへ室 まちの魅力発信委員会 (13名)	
委員長	中野正信
副委員長	三上寛
幹事	越後林憲
委員	荒谷輝
委員	大浦誠
委員	斎藤之敦
委員	坂本庸
委員	中川原治
委員	野沢工
委員	橋本忍
委員	松本孝
委員	三井実
委員	山内一
委員	彦

2006 年度理事長基本方針（案）

1958年に産声をあげた八戸青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を目指して活動してきました。その思いは脈々と受け継がれ、3年後には創立50周年という大きな節目を迎えます。本年、社団法人八戸青年会議所は今までの理念や活動を踏まえ、「人と人との繋がり」を大事にし、未来にむけて歩いていきたいと考えます。

「ラブはちのへ」運動が提唱されて30余年の歳月が流れました。その運動は、時代に沿って様々な形で繰り広げられてきました。「知即愛」の精神、そして「市民意識の高揚」を目指したこの運動は、ここ数年語られることが少なくなったように感じます。しかし、このまちを愛し、今よりもっと良くしたいという思いは不変です。今こそ「ラブはちのへ」運動の原点に帰り、今までの運動を真摯に学び、思いの繋がりを感じましょう。われわれが目指すべき道が拓けてくるはずです。

「組織」とは縦糸と横糸とから成る、織物の織り方の意から派生した言葉です。一本一本の糸が真に強く、そして縦と横に幾重にも重なり合うことで、しっかりとしたひとつの織物となります。しかし、糸だけでは織物とは成り得ません。われわれ八戸青年会議所にとってこの糸とはメンバーひとり一人です。各々が困難に立ち向かいながら、厳しさや強さそして優しさを持ち、人と人との繋がりを大事にすることで強固な組織となります。相手のことを思いやり、尊重し、自分の意思を伝え、お互いの繋がりを感じましょう。そして、この繋がりへの思いは、青年会議所の中だけではなく、家庭、職場そしてこのまちへと必ず広がっていくはずです。

われわれの夢のひとつに、全国会員大会の誘致・開催があります。この大会を誘致するためには、メンバーそれぞれが、まちを知り、まちの魅力を探り、まちの可能性を語りあうことが必要となります。また、この大会を開催するためには、具体的なプランを練る必要があります。ハード部分の精査はもちろんのこと、このまちに住む人々とともに開催することを念頭におき、この大会への思いをまちにむかって伝えることが重要となります。ここで結ばれた繋がり、われわれ自身だけではなく、このまちを新たなステージに導くことになるでしょう。

本年、この東北の地、郡山にて全国会員大会が開催されます。また東北青年フォーラムが十和田の地で開催されます。この二つの大会は、同じ東北という地域、同じ南部という地域から魅力を発信するものとなります。共通の地域性を持ち、志を同じくする者として、この二つの大会へ積極的に参加しましょう。その中で、多くのことに気づき、財産とすることが出来るはずです。

新八戸市が、昨年三月に誕生しました。平成の合併も一段落し、道州制への移行が各地で議論されています。青森・岩手・秋田県でも、北東北三県での広域連携が検討されています。また、八戸市では行政と住民が対等の立場で、これからのまちづくりに取り組んでいます。これらは、中央集権体制から地域主権への大きな流れの表れです。このような中で、快適自立生活圏を発信した南部州構想は、時代とともに新たな提言が必要であると考えま

す。広域の魅力を再認識し、まちのグランドデザインを描いていきましょう。

まちの未来は、青少年へと委ねられます。しかし、若者の多くがまちの魅力を知らずに都会へと旅立つのではないのでしょうか。われわれには使命があります。次の時代を担う彼らに、このまちの歴史・伝統・文化を通じて、このまちをより良くしたいという「思い」を伝えなければなりません。

青年会議所にとって会員の拡大は重要です。活動が理解され、価値が伝わることで仲間が増えることとなります。そのためには、われわれ自身の魅力が大切であると考えます。メンバーひとり一人が積極的に行動し、新たな繋がりを広げていきましょう。

このまちの大きな魅力のひとつに、八戸三社大祭があります。われわれは、このお祭りの活性化のために、様々なことを模索し、行動してきました。また、昨今の「おまつり広場」は、市民参画実行委員会との連携や多数の市民ボランティアの協力により、大きな進化を遂げています。本年は、その繋がりの中でさらに発展させる年とします。そのうえで、われわれの活動や思いの集大成として、まちに伝え、行動する「おまつり広場」にしたいと考えます。

2006年度社団法人八戸青年会議所は、メンバーひとり一人が繋がりを大事にし、積極的に行動する年にしたいと思えます。「思いの繋がり」「まちとの繋がり」そして「人と人との繋がり」われわれの目指すべき道に向かって、共に議論し、汗を流し、進んでいきましょう。われわれの熱い思いが、必ずこのまちの未来へと繋がるはずです。

《重点テーマ》

「ラブはちのへ」運動への回帰と実践

「人と人との繋がり」を大事にした組織力の強化

《重点事業》

全国会員大会の検討と推進

「おまつり広場」の企画・開催

メンバーひとり一人が取組む会員拡大

「東北青年フォーラム in 十和田」への全員参加

「第55回全国会員大会郡山大会」への全員参加

2006 年度事業計画（案）

運営室

総務委員会

八戸青年会議所の運営を円滑に進め、執行部を補佐し、外部に向けて活動内容を紹介するとともに情報受発信を行う。

- 総会、例会、理事会の運営
- 新年会、忘年会、卒業式の企画・開催
- 会員手帳の作成
- ホームページ及びイントラネットの管理・運用
- 出向者報告の窓口
- 苫小牧交流会の窓口
- マスコミ諸団体の窓口
- 各種案内の発送
- 各事業の取材・記録

ひとの魅力室

会員開発委員会

会員拡大を実践するとともに、新入会員セミナーを開催し、資質向上に努める。

- 会員拡大の実践
- 会員拡大事業の実施
- 新入会員セミナーの実施
- 新入会員入会手続きの窓口
- 入会案内の作成

ひとの魅力創造委員会

「ラブはちのへ」運動の勉強会を始めとするセミナーを実施し、人間力あふれる社会起業家を育成する。

- 社会起業家を育成するセミナーの実施
- 「ラブはちのへ」運動の勉強会の実施
- ふれあい実行委員会への協力
- 「ラブはちのへ」運動体感事業の実施

まちの魅力室

おまつり委員会

今までの歴史を再認識すると共に、市民との繋がりをより確かなものとし、2006年度八戸青年会議所の活動を発信し、集大成の場となる「おまつり広場」を開催する。

- おまつり広場の調査・研究・企画・開催
- 市民参画実行委員会との連携強化
- ボランティア参加型のおまつり広場の推進
- 各委員会との積極的交流及び関係の強化

次代のひとづくり推進委員会

まちの未来を担う青少年にまちの魅力を伝える事業を実施する。

- まちの未来を担う青少年育成事業の実施
- わんぱく相撲ブロック場所の主管
- わんぱく相撲への対応

夢・ラブはちのへ室

未来のまちづくり委員会

広域まちづくり運動の認識を高めるとともに、未来のまちづくりを検討し、まちに向けて発信する。

- 広域まちづくり運動に対するメンバーの認識向上を図る
- 南部州内での共同事業の検討
- 「未来のまちづくり構想」の策定
- 南部州デザイン会議への支援

まちの魅力発信委員会

まちの歴史・文化・風土を再認識し、未来を見据えた中で、まちの魅力を模索し、発信する。

- まちの魅力を発信する事業の実施
- 全国会員大会招致理念の策定
- 「(仮)まちの魅力」発信ツールの作成
- ふれあいセンターわいぐとの連携

全国会員大会推進室

全国会員大会推進委員会

全国会員大会誘致・開催に向けて検討し、メンバーの認識を高めるとともに、まちに向けてビジョンを発信する。

- 全国会員大会誘致・開催に向けてメンバーの認識向上
- 「全国会員大会開催計画(案)」の製作および外部発信ツール作成
- 「第55回全国会員大会郡山大会」への支援

2006年度 一般会計 収支予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
款	予算	款	予算
1. 会費	19,780,000	1. 負担金	3,039,200
2. 雑収入	60,000	2. 事務費	6,810,382
3. 終身会費	660,000	3. 事業費	8,130,418
		4. インフォメーション関係費	310,000
		5. 渉外費	1,400,000
		6. シニアクラブ'運営協力金	330,000
		7. 次年度準備金	130,000
		8. 特別会計繰入支出	200,000
		9. 予備費	150,000
合計	20,500,000	合計	20,500,000

(単位:円)

収入の部			
款	予算	項	予算
1. 会費	19,780,000	1. a. 正会員	16,940,000
		b. 賛助会員	40,000
		c. 新入会員	2,800,000
2. 雑収入	60,000	2. 雑収入	60,000
3. 終身会費	660,000	3. 終身会費	660,000
合計	20,500,000	合計	20,500,000

(単位:円)

支出の部			
款	予算	項	予算
1. 負担金	3,039,200	1. a. JCI	200,750
		b. 日本JC	820,000
		c. 地区	224,000
		d. ブロック	750,000
		e. 国際協力金	266,450
		f. WE BELIEVE・JC-PRESS	438,000
		g. 出向者負担金	290,000
		h. 南部州デザイン会議	50,000

(単位:円)

支 出 の 部			
款	予 算	項	予 算
2. 事 務 費	6,810,382	2. a. 事務局維持費 b. 倉庫賃料 c. 事務局員費 d. 通信費 e. 消耗品費 f. リース費 g. 備品費 h. 借室料 i. 慶弔費 j. 雑費	868,060 315,000 3,229,200 650,000 700,000 148,122 250,000 130,000 150,000 370,000
3. 事 業 費	8,130,418	3. a. 例会講師関係費 b. 事業予備費 c. 委員会事業費 1) 総務委員会 2) 会員開発委員会 3) ひとの魅力創造委員会 4) おまつり委員会 5) 次代のひとづくり推進委員会 6) 未来のまちづくり委員会 7) まちの魅力発信委員会 8) 全国会員大会推進委員会 d. 大会登録料	1,000,000 1,515,134 3,571,284 2,396,658 143,105 73,012 671,304 111,208 41,207 18,985 115,805 2,044,000
4. インフォメーション関係費	310,000	4. インフォメーション関係費	310,000
5. 渉 外 費	1,400,000	5. a. JC間渉外費 b. 諸渉外費	1,200,000 200,000
6. シニアクラブ運営協力金	330,000	6. シニアクラブ運営協力金	330,000
7. 次年度準備金	130,000	7. 次年度準備金	130,000
8. 特別会計繰入支出	200,000	8. 特別会計繰入支出	200,000
9. 予 備 費	150,000	9. 予 備 費	150,000
合 計	20,500,000	合 計	20,500,000

主要項目内訳

収入の部

1. 会費

(単位:円)

款	予 算	備 考
1. a. 正会員	16,940,000	正会員@ ##### × 121 名
b. 賛助会員	40,000	@ 10,000 × 4 名
c. 新入会員	2,800,000	@ 140,000 × 15 名 + @ 140,000 ÷ 2 × 10 名

3. 終身会費

(単位:円)

款	予 算	備 考
3. 終身会費	660,000	@ 60,000 × 11 名

支出の部

1. 負担金

(単位:円)

款	予 算	備 考
1. a. JCI	200,750	@ 1,375 × 146 名 [121 + 25]
b. 日本JC	820,000	90,000 + (@ 5,000 × 146 名)
c. 地区	224,000	5,000 + (@ 1,500 × 146 名)
d. ブロック	750,000	20,000 + (@ 5,000 × 146 名)
e. 国際協力金	266,450	@ 1,825 × 146 名
f. WE BELIEVE	438,000	@ 3,000 × 146 名
g. 出向者負担金	200,000	@ 20,000 × 10 名 [(社)日本青年会議所]
	10,000	@ 10,000 × 1 名 [東北地区協議会政策セミナー委員会]
	80,000	@ 10,000 × 8 名 [青森ブロック協議会アカデミー塾生]
h. 南部州デザイン会議	50,000	年会費

2. 事務費

(単位:円)

款	予 算	備 考
2. a. 事務局維持費		
イ. 賃料	168,060	
ロ. 共益費	150,000	
ハ. 光熱費	550,000	
b. 倉庫賃料		
イ. 賃料	315,000	26,250 × 12 ヶ月
c. 事務局員費		
イ. 基本給	2,442,000	203,500 × 12 ヶ月
ロ. 通勤手当	60,000	5,000 × 12 ヶ月
ハ. 精勤手当	240,000	20,000 × 12 ヶ月
ニ. 退職金引当金	48,000	1,000 × 4 口 × 12 ヶ月
ホ. 労働保険料	44,660	
ヘ. 社会保険料	294,540	
ト. 福利厚生費	100,000	
d. 通信費	650,000	
e. 消耗品費	700,000	
f. リース費		
イ. コピー機	13,860	13,860 × 1 年
ロ. 印刷機	24,570	24,570 × 1 年
ハ. FAX・プリンタ	56,400	4,700 × 12 ヶ月
ニ. パソコン	53,292	4,441 × 12 ヶ月
g. 備品費	250,000	
h. 借室料	130,000	
i. 慶弔費	150,000	
j. 雑費	370,000	

6. シニアクラブ運営協力金

(単位:円)

款	予 算	備 考
6. シニアクラブ運営協力金	330,000	@ 30,000 × 11 名

2006年度 全国大会誘致運動特別会計 収支予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
款	予算	款	予算
1. 一般会計繰入収入	200,000	1. 事業費	200,000
2. 前年度繰越金	0		
合計	200,000	合計	200,000

2006年度年間スケジュール(案)

2006年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JCI:日本JIC	<ul style="list-style-type: none"> 総会21日(土) [京都] ブロック会長会議 20日(金) [京都] 京都会議 19日(木)～22日(日) [京都] 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長懇談会 18日(土) 	<ul style="list-style-type: none"> 総会19日(日) [未定] ブロック会長会議 18日(土) 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長懇談会 15日(土) 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長懇談会 20日(土) ASPAC 24日(木)～28日(日) [横浜] 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長懇談会 17日(土) 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長会議 21日(金) [未定] サマーコンファレンス 20日(木)～23日(日) [横浜] 		<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長懇談会 16日(土) 	<ul style="list-style-type: none"> 総会6日(金) [郡山] ブロック会長会議 5日(木) [郡山] 全国会員大会 5日(木)～8日(日) [郡山] 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長懇談会 4日(土) JCI世界会議 10日(月)～18日(土) [ソウル] 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック会長会議 9日(土)
東北地区協議会	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 20日(金) [京都] 会員会議所会議 21日(土) [京都] 地区ナイト 20日(金) [京都] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 10日(金) [仙台] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 3日(金) [三沢・青森B] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 7日(金) [いわき・福島B] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 12日(金) [左沼・宮城B] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 2日(金) [酒田・山形B] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 4日(金) [十和田・青森B] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 7日(金) [釜石・若手B] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 1日(金) [十和田・青森B] 東北青年フォーラム 2日(土)～3日(日) [十和田] 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 (湯沢・秋田B) 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議 24日(金) [米沢・B] 会員会議所会議 25日(土) [米沢・B] 地区卒業式 25日(土) [米沢] 	
青森ブロック協議会	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [三沢] 29日(日) ブロック名刺交換会 [三沢] 29日(日) ブロックアカデミー大学 開校式[黒石] 4日(土)～5日(日) 		<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [八戸] 11日(土) ブロックアカデミー大学 [青森] 6月 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [むつ] 8日(土) ブロックアカデミー大学 [弘前] 6月 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [弘前] 13日(土) ブロックアカデミー大学 [三沢] 6月 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [黒石] 10日(土) ブロックアカデミー大学 [むつ] 6月 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [五所川原] 8日(土) ブロック会員大会 [五所川原] 8日(土)～9日(日) ブロックアカデミー大学 [五所川原] 8日(土)～9日(日) 		<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [十和田] 9日(土) ブロックアカデミー大学 [十和田] 6月 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [青森] 14日(土) ブロックアカデミー大学 開校式[八戸] 6月 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 会員会議所会議 [未定] 18日(土) ブロック卒業式 [未定] 18日(土) 	
八戸JIC	<ul style="list-style-type: none"> 総会8日(日) パークホテル 						<ul style="list-style-type: none"> 臨時総会 18日(火) 					<ul style="list-style-type: none"> 総会日10(日) クラントホテル
理事会	5(木)	6(月)	6(月)	4(火)	8(月)	5(月)	4(火)	4(金)	5(火)	4(火)	6(月)・29(水)	26(火)
総会・定例会	8(日)	20(月)	20(月)	18(火)	18(木)	19(月)	18(火)	18(金)	3(日)	18(水)	20(月)	10(日)
三役会	16(月)	21(火)	22(水)	20(木)	22(月)	20(火)	19(水)	21(月)	20(水)	20(金)	21(火)	15(金)
常任理事会	25(水)	27(月)	27(月)	27(木)	29(月)	27(火)	25(火)	28(月)	26(火)	26(木)	24(金)	21(木)
郵便物発送日	6(金)・26(木)	7(火)・28(火)	7(火)・28(火)	5(水)・28(金)	9(火)・30(火)	6(火)・28(水)	5(水)・26(水)	7(月)・29(火)	6(水)・27(水)	5(木)・27(金)	7(火)	1(金)・25(月)
幹事会	6(金)	8(水)	8(水)	6(木)	10(水)	7(水)	6(木)	8(火)	7(木)	10日(火)		